

総務委員会 新病院議案を否決

地域医療を担う市民病院建設 市議会は市民の願いに応えるべき

定例市議会に提案されていた「市立病院設置条例案」が8日、総務常任委員会で反対多数で否決されました。

反対議員は、「説明が不十分。駅前には巨大プロジェクトを」。しかし、新病院は5年間をかけて市議会・市民・行政で繰り返し議論し、野洲駅前での建設を決めてきたのです。また、野洲市の地域医療を担う新病院建設を願う、多くの市民の運動が起り、これが建設を進める機運となりました。

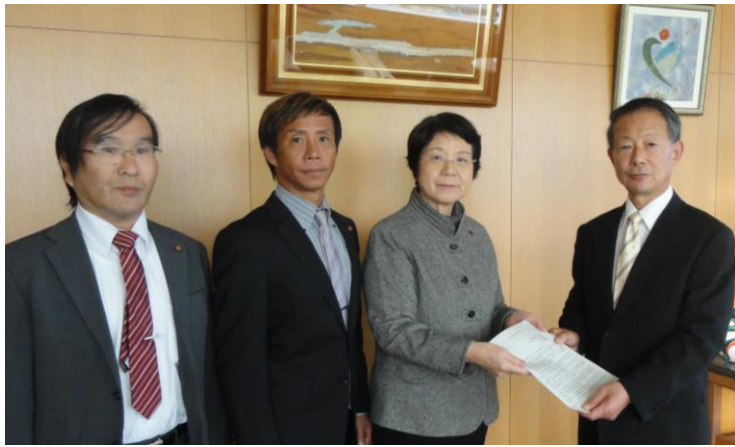
総務常任委員会では「反対のた

めの反対」の主張で、市民に寄り添った議論がされていません。野洲駅前は今までから利権や利害に絡む噂も度々。もうこのようなことを繰り返してはなりません。まさに市民と市議会の意思が「ずれている」と言わなければなりません。

総務常任委員会で否決されましたが、これが本決まりではありません。市立病院設置条例案は定例市議会最終日（22日）の本会議で採決されます。市議会の良識を発揮してほしいものです。

- ◆総務常任委員会での新病院設置議案の態度
賛成＝太田健一、矢野隆行
反対＝中塚尚憲、荒川泰宏、上杖種雄、坂口哲哉
- ◆22日の最終本会議で条例案は採決されます

共産党市議団が市予算要望書を提出



共産党市議団は去る8日、山仲市長に対して「2017年度野洲市予算に対する要望書」を提出しその実現を求めました。

要望書では 福井県の原発群の再稼働反対を国に申し入れることや市防災計画の見直し。暮らしと福祉・医療では、新病院の早期建設、学童保育所の土曜日・日曜日保育実施、中学校卒業までの通院医療費無償化、県下で3番目に高い国保税の引き下げなどを求めました。

循環バスの充実、県道守山中主線の川田橋交差点の安全対策など、市民のみなさんから寄せられた66項目の切実な願いの実現を要求しました。

朗報 来年度から75歳以上の健康診査通知へ



滋賀県議団と野洲市議団など地方議員団が去る10月19日、広域連合に交渉し改善を求めてきました

75歳以上の後期高齢者を対象にした「健康診査」は、平成27年度から対象者が大幅に制限されました。このため、「なぜ健診通知が届かないか」などの声が多く寄せられていました。

高齢者にとって健康診査は重要です。共産党地方議員団は10月19日、滋賀県後期高齢者広域連合に改善を求める交渉をしてきました。

去る6日の一般質問でも改善を求めました。市の答弁では「平成29年度より見直しの方向で広域連合が検討している」とのことと改善方向が出されました。

広域連合では「一年間に生活習慣病での受診が3回以上あり、かつ血液検査を受けた方のみを除外対象とし、それ以外の方には受診券を発行する」とのことです。これが実現すると対象者への周知及び申請手続きが解消されます。大きな改善となります。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2016年12月18日 No.294

市政や市議会へのご意見
ご要望をお寄せください

野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985
 太田健一 近江富士 2-11-25 (電話・FAX) 588-3169
 東郷正明 比江864 (電話・FAX) 589-4158

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索